

令和5年度

学校教育に関するアンケート結果

令和6年2月26日

西東京市立本町小学校

校長 高橋 浩一

日頃より本校の教育活動にご理解・ご協力をいただきありがとうございます。「学校教育に関するアンケート」の集計及び分析をいたしましたので、ご報告いたします。お寄せいただきました回答は、「学校評価」や「授業改善推進プラン」等の資料として活用し、来年度の教育活動に反映させてまいります。今後ともどうぞよろしくをお願いいたします。

【肯定__%】は、肯定的評価（とてもそう思う、そう思うの割合の合計）です。

<児童の様子>

【質問1】 お子さんは楽しく学校に通っていますか。



【肯定93%】本校では、1学期の始めには休み時間は教員も外に出て子供と一緒に遊んだり、夏休み明けにはスタートアップ期間を設けてゆるやかにスタートしたりすることで、児童理解を深め、児童が安心して学校生活が送れるよう取り組んでいます。また、毎学期クラスの児童全員と面談する取組を行っています。これらの取組を通して、担任と児童の信頼関係を築くよう努めてきました。児童の笑顔輝く姿を目指し、授業も工夫してきました。また、昨年度に引き続き、保谷中学校と連携して中学校の校庭でも遊ぶ機会を月1回程度設けており、卒業生と言葉を交わす様子も見られています。来年度も「笑顔が輝き活力ある学校」を目指し、工夫改善を図っていきます。

【質問2】 お子さんは意欲的に学習に取り組んでいますか。



【肯定82%】意欲的に学習に取り組むためには、基礎的な学力と主体的な学びの姿勢が大切です。どうしたら児童にとって楽しく分かりやすい授業になるか、算数を中心に教員間で研修を行いました。校内研究としても道徳に力を入れ、対話を手立てに主体的に学習に取り組めるよう授業改善を行いました。また、学年で道徳の授業を分担して行う「道徳交換授業」も実施し、担任だけではなくより多くの教員が目で児童の様子をみとり、安心して生活できるよう配慮しました。来年度も児童がより意欲的に学習に取り組めるよう、校内研究を通して授業改善を行い、児童が安心して学び合える学校にしていきます。

【質問3】 お子さんは基礎的な学習内容を理解していますか。



【肯定84%】一人一人の学習状況やつまづきを把握し、基礎的な学習内容が確実に身に付けられるよう個別最適化した授業を意識し、日々指導方法の改善を図っています。年に2回、東京ベーシックドリルを活用して習熟状況を診断し、補習に取り組んでいます。また、当該学年の学習内容の確実な習得を目指し、低学年は毎月、中・高学年は隔月で放課後に「ステップアップタイム」を設定したり、中学年を対象にマンツーマン指導で基礎力向上を図る「本町っ子タイム」を実施しました。来年度も、基礎的な学習内容を楽しみながら身に付けられる取組を継続していきます。

【質問4】 お子さんは先生の話をしっかり聞いていると思いますか。



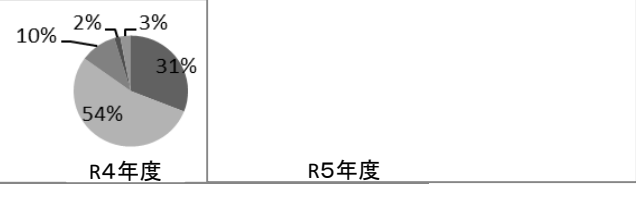
【肯定81%】昨年度に比べて肯定的な意見が6%増えました。コロナ禍が過ぎ、教員も児童もマスク着用の機会が少しずつ減ることで、face-to-faceでコミュニケーションが取れるようになってきました。目だけしか見れなかった頃に比べて、しっかりと顔を向けて聞く児童の姿が増えたこと実感しています。「目を見て」「だまって」「考えて」の頭文字をとった「め・だ・か」の聞き方で話を聞くよう指導をしています。現在はどの学級も大きな乱れはなく、教師の話を聞き、落ち着いて学習している様子が見られます。来年度も落ち着いて学習に取り組むことができるよう、全学級で授業規律を整えていきます。

【質問5】 お子さんは授業が分かりやすいと感じていますか。



【肯定82%】新学習指導要領に基づいて、児童の知識・技能が確実に身に付き、各教科の見方・考え方に基づいて思考力・判断力・表現力を生かして主体的に学べるよう、学習指導を工夫してきました。今年度は更に、児童の発言を促しながら、多様な意見を瞬時に理解・整理していき、重要なポイントを引き出し、議論する「ファシリテーション」の技法について研修を行い、授業に取り入れました。来年度も、児童が主体的に授業に参加し理解が深まるよう授業改善を継続していきます。

【質問6】 お子さんは、自分のことは自分で行い、友達と協力していると思いますか。



【肯定89%】昨年度よりも肯定的な意見が4%増えました。本校では、3つの『あ』（あいさつ・あんぜん・あとかたづけ）を全校共通の合言葉とし、どの学年の児童も自ら実践できるよう全教員で言葉を掛けています。一昨年度から実施している「朝のあいさつ運動」も継続しており、すすんで気持ちのよいあいさつを行ったり、友達と協力したりするよい機会となりました。特別の教科道徳でも「親切・思いやり」「善悪の判断、自律、自由と責任」など、自分や友達のよさに気付き、認め合う心の育成に向けて計画的に指導を進めています。

<ご家庭へのアンケート>

【質問7】 お子さんは進んで本を読んでいますか。



【肯定53%】子供たちの読書量が少ないことは、本校の抱える課題です。今年度も月に二回「家読」の宿題を設定し、家で読書をする時間を作ったり、読書旬間に図書委員会児童が各クラスで読み聞かせを行ったり、図書バックを机の横にかけ、いつでも読書のできる環境を整えたりすることで、読書を促してきました。また、保護者の方による読み聞かせも全校で行っていただき、よい機会となりました。6年生は小中連携の取組の一環で保谷中学校に出向き、ビブリオバトルの参観機会を設けました。来年度は、友達と本を紹介し合うなどの交流の機会を意図的に設定したり、読書感想文の書き方指導を3年生以上で実施するなど、児童が課題意識をもって読書活動に取り組む学習を行っていきます。今後も、児童がより本に親しむ機会が増えるよう環境を整備していきます。

【質問8】 お子さんは、家庭学習(宿題・自主学習等)に毎日取り組む習慣ができていますか。



【肯定78%】本校では、宿題を毎日行うことと、朝必ず提出する習慣を全学年共通して指導しています。3年生以上の学年では、自主学習を週1回提出することとし、取り組んでいます。保護者の方が、少しの時間でもお子さんの家庭学習を見てくださることが、子供たちの一番の励みとなり力を伸ばします。学校と家庭が連携し、家庭学習の習慣化を図っていききたいと思います。ご協力、よろしく願います。

【質問9】 お子さんは、テレビやゲーム、携帯電話などに依存することなく生活できていますか。



【肯定44%】本町小学校の子供たちはテレビやゲーム、ネット等への依存傾向があることが、保護者アンケート結果に顕著に表れています。児童への意識調査でも同様の傾向が見られました。学校では、今年度もタブレットのルールやSNSとの関わり方について、発達段階に応じて指導してきました。現代を生きる子供たちの生活と、メディアやSNSとの関わりは切り離せない時代になっています。テレビやゲーム等との根本的な関わり方の改善には、ご家庭の協力が不可欠です。お子さんの健やかな成長のため、学校と家庭で共通の課題意識をもち取り組んでいきたいと考えます。

【質問10】 ご家庭では、お子さんのよいところを話題にしていますか。



【肯定90%】学校でも自宅でも、子供たちは日々いろいろなことに努力し、挑戦しています。「苦手なことでも投げ出さず座って取り組んでいる。」や「約束を守るため、葛藤しながら努力している。」など、小さなことでもその努力を保護者が理解し、認めてくれていることで子供の自己肯定感は高まります。自己肯定感の高い子は、多少のことではくじけない、たくましい子に育っていきます。学校でも家庭でも、たくさんの温かい言葉をかけて自己肯定感を高めていきたいと考えます。ご協力をお願いいたします。

<学習指導・生活指導>

【質問11】 学校は、授業の工夫や補習など、学力向上に努めていると思われますか。



【肯定89%】授業では、タブレットや実物投影機の活用、ホワイトボードや付箋などのツールの活用をしたり、ゲストティーチャーを呼んで専門性の高い学習の場を設けたり、積極的に校外に出て学習をしたりするなど、児童の主体性を引き出す工夫を心掛けています。また、3・4年生を対象に、基礎・基本の定着を目指して、児童一人に教員がマンツーマンでつく形で年間15回学習する本町つ子タイムも実施しました。各学年でステップアップタイムも行い、学習内容を補完しています。来年度も引き続き、一人一人にきめ細やかに指導し、学力向上が図れるよう授業改善に努めます。

【質問12】 学校は、礼儀やあいさつ、思いやりなど、心の教育に取り組んでいる。



【肯定90%】以前は本町小の子どもたちは、あいさつに課題があると地域の方や交通養護員の方々から聞くことがありました。一昨年度から「朝のあいさつ運動」を代表委員と高学年を中心に始め、今年度は全学年でひと月ずつ分担してあいさつ運動を実施しました。地域の方からも「本町小の子供たちの挨拶がよくなりました。」と褒めていただくことも増え、児童の中にも本町小学校のよさとして「気もちのよいあいさつ」が定着しています。今後は日常でのあいさつに目を向けさせ、世話人の方や他校からの来校者など、普段接する機会の少ない人に対しても自分から気持ちのよいあいさつができる児童の育成に努めていきます。

【質問13】 学校は、健康・安全に対する生活指導が適切に行われていますか。



【肯定90%】毎月1回安全指導朝会を実施して、安全に対する注意喚起を行っています。また、毎学期1回、下校時に教員と一緒に通学路を歩き、危険箇所について職員間で共有しています。今年度は、6年生の通学の様子を撮影した動画を基に正しい歩行の仕方について全学年で学んだり、交通養護員の方に安全指導朝会時にお話をさせていただく機会を設けたりしました。学区域には大きな道路に面している通学路もあります。歩道の歩行に課題のある児童の様子も見られていますので、今後も交通事故防止のための指導を続けていきます。地域の中でも、子供たちを見守っていただきますようお願いいたします。

【質問14】 学校は、震災や火災に備えての訓練を実践的に行っていきますか。



【肯定95%】コロナ禍が過ぎ、今年度からは屋内外に関わらず全校で一斉に避難訓練が実施できました。避難訓練は、いっどこで被災するかわからない状況でも対応する力が身に付くよう、授業時間内だけでなく、休み時間や朝の時間などにも行っています。二次災害を想定して保谷中学校への避難訓練も実施し、万が一に備えています。6年生は、消防署の協力を得て煙体験も行っています。

【質問15】 学校は、校舎内外の清掃や施設整理など、学習環境の整備がされていますか。



【肯定87%】昭和54年開校ということもあり、校舎、教室、階段の各所で老朽化が進んでいます。教育委員会に要望を行い、毎年少しずつ設備改善がなされています。昨年度は体育館の照明の改修とエアコンの設置、校舎内トイレの改修工事を行い、今年度は体育館のトイレの改修工事も行いました。また、今年度も「おやじの会」の皆様、児童の椅子の脚にはめるテニスボールを準備していただきました。これからも市への改修依頼を継続すると共に、保護者の皆様のお借りしてできることを進めたり、教職員が掲示物や物品等の整理整頓や掃除を心掛けたりすることで、整った環境づくりを目指してまいります。

<教育方針>

【質問16】 学校からの情報伝達(学校だより・学年だより・保健だより・給食だより・図書館だより・ホームページ等)は、分かりやすいですか。



【肯定88%】本校の学校経営方針については、学校便り、HP、4月の保護者会等でもお伝えして参りました。今年度は行事の際に頂いたご意見に対しても、学校便りを通じて本校の方針を可能な限りお伝えしました。また、学校での様子を少しでも理解していただけるようほぼ毎日ホームページを更新し、どのような学校づくりを目指し、どのような教育活動が行われているかお伝えして参りました。今後も継続していきますので是非ご覧いただき、本町小の教育へのご理解とご協同をお願いいたします。

【質問17】 学校は、道徳授業や学校生活全般において、いじめをなくすよう努力していると思われますか。



【肯定80%】いじめアンケートによる聞き取りを毎学期1回行ったり、スクールカウンセラーによる全児童面接を行ったり、学期の始めに担任と児童との面談を行ったりすることで、いじめの早期発見に努めると共に、安心して登校できるよう配慮しています。また、本年度は道徳交換授業を行うことで、複数の目で児童を見守り、ささいな変化にも気付けるよう配慮しました。来年度も引き続き一人一人の声を受け止める取組を行い、いじめの未然防止、早期発見・早期対応、未解決ゼロに努めます。

【質問18】 学校は、保護者会・個人面談・授業公開・学校行事等、保護者との交流の機会を設け、開かれた学校づくりに取り組んでいると思われますか。



【肯定93%】今年度は、予定されていた行事に関しては全て実施ができました。特に10月に実施した「本町小スポーツの日」では、全校児童が一同に会し、保護者の方々の入れ替えもなく実施ができ、生き生きとした子供たちの様子を見ていただけたかと思います。11月には「展覧会」を行い、多くの保護者の方々にご参観いただくことができ、児童の学習の成果をご覧いただきました。全校行事だけでなく、保護者会や個人面談など、さまざまな場面で保護者の皆様にはご理解、ご協力いただきました。ありがとうございます。来年度は本町小学校もコミュニティスクールとなります。開かれた学校の理念をもちながら、地域・保護者の皆さまと協同してよりよい学校教育を推進していきます。

<地域・保護者との連携・開かれた学校づくり>

【質問19】 学校はお子さんや保護者が相談したときに、誠実に応じてくれていると思いますか。



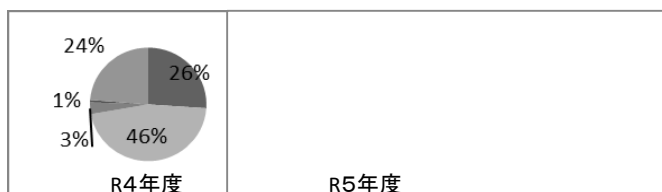
【肯定87%】お子さんの健やかな成長について、学校と保護者の両者が協力し合うことで大きな教育効果が得られ、子供の安心につながると考えます。今後も子どもたちや保護者の悩み・相談にしっかりと耳を傾け、積極的に応じる学校を目指しているということを保護者会や学校便りを通して広報し、全教員で実践してまいります。

【質問20】 学校は保護者や地域の皆様の声にこたえようとしていますか。



【肯定79%】ご提出いただいたアンケートは全ての教員が目を通しています。そして、いただいたご意見に対しては、学校便りにおいて可能な限り学校としての見解をお伝えしてきました。今年度はコロナ禍を抜け、さまざまな行事や取組を制限なく、予定通り実施することができました。今後も、保護者・地域・学校が協働しながら学校を創っていくことを大事にしたいと考えております。

【質問21】 学校は閉庁日の設定や留守番電話の活用により、働き方改革を進めていると思いますか。



【肯定83%】昨年度に比べて肯定的な意見が11%伸びました。留守番電話や閉庁日の設定などの対応に加え、道徳授業交換を行うことで教材研究にかかる時間を短縮したり、あゆみの所見を個人面談に代えさせて頂いたりすることで働き方改革を進めています。教員が適切な休暇を取得し、過度な残業とならないようにすることで、教員が本分である授業準備に取り組む時間を設けたり、細やかに児童の様子を捉え指導に生かしたりすることに繋がると考えます。本校の取組へのご理解・ご協力いただき、ありがとうございました。今年度の取組を継続しつつ、来年度も働き方改革を進めてまいります。

【質問22】 学校の電話や訪問時における対応は適切ですか。



【肯定93%】保護者の方や本校に来校された方みなさんが安心できたり本町小を信頼したりすることにつながるよう、電話や訪問時における対応については「先 挨拶」「先 笑顔」を心掛け、全教職員で取り組んでいます。来年度はより一層心掛け、子供たちの手本となる、率先垂範で行動する教職員集団を目指します。

2学期にご依頼しました「学校教育に関するアンケート」においては、多くのご家庭から提出していただきました。ご協力に深く感謝いたします。アンケートの自由記述に書かれた内容は全教職員で共有しています。下記に、アンケートの結果やいただいたご意見について学校の基本的な考え方をまとめましたので、ご覧ください。

Q①学芸会が無くなるのが残念です。表現を得意とする子どもの本領発揮の場となると考えています。

令和6年度は音楽会、令和7年度は展覧会とし、それ以降も隔年で音楽会と展覧会を開催します。学芸会・学習発表会は行いません。

まず育成すべき資質・能力が示された学習指導要領では、学芸会のような劇を演じる表現は記載されておられません。学校だより1月号をご参照ください。

Q②次年度4,5月の行事予定を年度内に教えて欲しい。（変更があることを承知の上）

次年度の年間行事予定を今年度の3月までにお知らせいたします。ただし、変更点は出てくることはご承知おきください。

Q③スポーツの日のアンケートの回答が無く残念です。

学校だより1月号をご参照ください。

Q④不登校や教室に入れない子どもの居場所はどこなのか、どうしているのか気になります。

保健室を活用しています。ただし、長期間に渡って、あるいは1日のうち全時間を保健室で過ごすものではありません。教室で過ごすことができるようにするため、一時的なステップとしての活用です。

Q⑤夏休みや金曜日の宿題が多く負担に感じているようです。

担任にご相談ください。個別の配慮を検討します。

Q⑥漢字ドリル付属の漢字ドリルノートを使用するほうが漢字の復習がスムーズだと感じます。保護者の経費負担になりますが子どもにとって必要な学習教材と思います。

学習教材に関しては、どの教材にもメリット、デメリットがありますので、学年の児童の実態に合わせて判断させていただきます。

Q⑦理科の宿題で月の観察がありましたが、天候が悪くても行う様に指導があり、夜遅くまで取り組んでいました。親の言うことを聞かなくなる年齢となり、もう少し考えて宿題を出してほしい。

夜遅くまで取り組むことになってしまったことに関してお詫びいたします。学校として夜遅くまで取り組ませようとは考えていませんので、児童に対してそのことがしっかり伝わるよう説明します。

Q⑧市外の取り組みを取り入れ、担任以外の先生がサポートに入るなどしてほしい。

予算の都合もあり、他地区と同じような人的資源を投入できないことがあります。ALT、英語ボランティア、生活支援員、介助員など現状でも、できる限りではありますが、複数体制での指導は考えており、今後も考えていきます。

Q⑨学年だよりの配布を数日でもよいので早めてほしい。

学年だよりに記載する情報の中で、大事なこと（授業で使う教材の準備や期限など）は、見落とししてしまうことがあるので、大きな字や太字にさせていただきたい。

学年だより、学校だよりの情報では、持ち物や行事についてどうすればよいのか分りづらいことが多くあります。

学校だより、学年だよりの中で期日があるもや持ち物などは、“お知らせ”コーナーなどにまとめて記載していただけると見やすい。

学年だよりや学校だよりの発行日に関して、翌月の始めに、ご用意していただくものや、イレギュラーな時程になっていることがあるときは、月末より3、4日間早く発行することを目指して参ります。また大事なところや期日のあるものを太字や大きな字にしたり、お知らせコーナーでまとめたりすることは現状も試みてはいますが、もう少し意識を高めて参ります。

Q⑩HPを新しいデザインにして見やすくなると良いと思います。

HPのデザイン変更に関しては、市の制限もあったり、または教職員の技術レベルもあったりしますので、ご容赦いただきたいと思います。

Q⑪配布物が多いためデータ化してほしい。

HPやメールなどwebをもっと活用してほしい。

学年だより等、HPからも見られるようにしてほしい。

配布物やお知らせをHPへの掲載、ダウンロード可能にして欲しい。子どもが持ち帰られず、手元に届くまでに時間差が生じるため)

これまで配布してきた物の中で、HPに掲載することでペーパーレス化を図ることができ、且つ保護者の方々へ確実に周知できる方法を模索して参ります。

Q⑫欠席メールを送信しても返信が無いので正しく届いたか不安です。自動でメールが届いたことを通知するシステムを導入してほしい。

欠席メール送信で学校に届いたことを示す返信機能はございません。万が一欠席メールが届いておらず、お子様が欠席した場合は、学校から安否確認の電話が必ず入ることになっています。

Q⑬学校アンケートもグーグルを利用し、ペーパーレスにして欲しい。

学校アンケートはペーパーレス化を図れるよう検討して参ります。

Q⑭国からの補助金がいろいろと出ているようですが、それをどのように使われているのかわかる様にしたい（市へ要望するべきですが・・・）

国や市からの補助金の活用については学校が示すものではないと考えます。市へお問い合わせください。

Q⑮今年度より変わったことが多く、今は戸惑いもあるのですが、良い方向に変わっていくと良いと思います。

今年度になり変更点が多く、それについての説明や情報が少なく戸惑いを感じています。

今年度からの変更点に関しては、学校だよりやその他のお便りで示してきました。周知が不十分であるのご指摘ですが、次年度変更点があった際、そのことが文章で周知していないと気付いた際は、恐れ入りますがお問合せください。

Q⑯学校全体の学級閉鎖等の状況を周知してほしい。体調不良の時には感染症について家庭でも対応が必要なので状況が知りたいです。

学級閉鎖を知らせる際は、当該学級にお便りと一斉メールの両方で行って行っていました。今年度途中から、当該学年だけでなく、全校に向けて一斉メールを配信しています。今後も、学級閉鎖等の情報は随時発信していきます。また、コロナの時のように、個人が特定される危険性があり、その方に不利益を生じると判断した際は、他の学級の保護者への一斉メールは配信しないこともご承知おきください。